

## I. 主要企業の2008年第3四半期動向レビュー

### 1. CODELCO

- ・ 2008年Q3のEl Abra 鉱山を除くCODELCO売上高は、前年同期比35.7%減の17.6億US\$、純利益は前年同期比71.1%減の2.0億US\$となった。
- ・ 2008年Q3の銅生産量(El Abra含む)は、前年同期比1.0%減の392千tとなった。
- ・ キャッシュコストは2007年通年の39.7¢/lbから上昇し63.2¢/lbとなった。

#### (1) トピックス

##### [主要プロジェクトの探鉱状況]

- ・ Rio TintoとJV探鉱プロジェクト(Esteliプロジェクト、Palomaプロジェクト)実施で合意。CODELCOは鉱区を提供し、Rio Tintoは探鉱資金を提供する。
- ・ 7月にチリ第Ⅱ州Camara郊外でCasualidad 鉱床を発見したと発表(鉱量3億t、品位Cu 0.8%)。2007年に発見されたMiranda 鉱床と合わせると銅量400万t。
- ・ 9月にRadomio Tomic 鉱山周辺探鉱(19百万US\$を投資しボーリング約160孔計77,000mを実施)の環境影響評価書を提出。

##### [主要プロジェクトの開発状況]

- ・ 7月に49%シェアを有するEl Abra 鉱山のSulfolix 拡張プロジェクト(2010年から硫化鉱を開発、年間16.3万tの銅カソード生産、マインライフ10年延長、投資額4.5億US\$)を承認。
- ・ Andina 鉱山拡張計画について50億US\$を投資し、2014年までに生産量を3倍に拡張すると7月に発表。第1フェーズと第2フェーズからなり、前者は既に開始。9月にはズリの移動と排水設備の修繕に投資計画額2億US\$の環境影響評価書を提出。
- ・ 9月に第Ⅲ州Salvadorで中小規模鉱山からの175万tの鉱石処理実施をENAMIとの間で合意。

##### [企業、鉱山、開発権益等の買収売却、アライアンス情報]

- ・ 7月にInca de Oroプロジェクト(第Ⅲ州Salvador周辺)の権益66%売却を決定。鉱量3.45億t、品位Cu 0.47%。
- ・ 9月に中国Minmetals社とGabriela Mistral 鉱山の一部権益売却を無期限延期することに合意した。代わりにCODELCOとMinmetalsは南米とアフリカで新しい銅についての鉱業活動と探鉱を展開するための共同作業実施に合意した。
- ・ 労働契約(2006~2008年)が終了。この間に17,000名の労働者と10回の団体交渉が持たれ、Gabriela Mistral 銅山でも第1回目の団体交渉が行われた。

##### [インフラ、技術開発等]

- ・ 9月にGabriela Mistral 銅山へ40MW電力供給を目的とした風力発電所建設(投資額86百万US\$)の環境影響評価書を提出。
- ・ 9月にビーニャデルマルで開催された国際モリブデン協会(IMOA)第20回年次大会でホストを務めた。大手モリブデン生産者・加工業者が180名参加。

## (2) 財務状況

(百万 US\$)

	2007 年					2008 年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	12,984	2,320	3,326	2,748	4,590	2,865	2,612	1,765	
当期利益	2,982	635	1,005	714	628	665	724	206	
売上高利益率(%)	22.9	27.3	30.2	25.9	13.6	23.2	27.7	11.6	

注 1) 売上高、当期利益は El Abra 鉱山を除く

## (3) 生産状況

### ① 主要鉱産物の生産状況

	2007 年					2008 年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱(千 t)	1,664	382	423	396	463	366	350	392	
モリブデン鉱(千 t)	28.0	6.3	7.3	7.0	7.4	7.0	3.0	5.0	

### ② 主要保有鉱山、製錬所の生産状況

(単位: 千 t)

鉱山名・製錬所名	2007 年					2008 年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
CODELCO Norte (100%)	896	192	225	224	255	184	197	171	
Salvador (100%)	64	18	16	11	19	14	11	11	
Andina (100%)	218	57	55	51	55	56	47	56	
El Teniente (100%)	405	94	107	91	113	93	74	104	
El Abra (49%)	81	21	20	19	21	19	21	21	
Gabriela Mistral (100%)	-	-	-	-	-	-	-	29	
キャッシュコスト(¢/lb)	39.7	28.0	31.1	42.6	39.7	41.4	60.1	63.2	

注 1) 生産量は銅金属純分

注 2) 第 2 四半期以降のキャッシュコストは累積平均

注 3) El Abra 鉱山の生産量は CODELCO シェア分

## 2. BHP Billiton

- ・2008年Q3<sup>\*1</sup>の銅鉱石生産量<sup>\*2</sup>は、対前Q2比21%減、対前年Q3比18%減となった。Escondida 鉱山(地チリ)で、鉱石品位の低下と Lagna Seca の SAG Mill の電気モーターの不調が影響した。
- ・銀生産量<sup>\*3</sup>は、対前Q3比12%増、対前年Q3比7%減となった。主に Cannington 鉱山(QL州)の鉱石処理量増加と Olympic Dam 鉱山の生産性向上が生産増加に貢献している。
- ・鉛鉱石生産量<sup>\*4</sup>は、対前Q2比10%増、対前年Q3比5%減となった。鉱石処理量増加が生産増加に貢献している。
- ・亜鉛鉱石生産量<sup>\*5</sup>は、対前Q2比4%減、対前年Q3比12%増となった。
- ・ウラン生産量<sup>\*6</sup>は、対前Q2比8%増、対前年Q3比19%増となった。Olympic Dam 鉱山(SA州)での回収率が生産増加に貢献している。Olympic Dam 鉱山(SA州)では最高の採掘量を記録した。
- ・ニッケル生産量<sup>\*7</sup>は、対前Q2比37%減、対前年Q3比31%減となった。Kalgoorlie 製錬所における炉の改装工事、Kwinana 製錬所、Yabulu 鉱山の保守工事による停止が影響した。
- ・マンガン鉱石生産量は、対前Q2比1%減、対前年Q3比27%増となった。南アでは記録的な生産となった。
- ・マンガン合金生産量は、対前Q2比7%増、対前年Q3比では10%増となった。南アでの電力消費量10%カットの影響を受けたものの、増産となった。

(非鉄金属のみ記載)

\*1) 同社の会計年度は6月末締であるが、他社との比較のため暦年に基づくものとし7~9月期をQ3と呼ぶ。

\*2) 精鉱中の金属純分量と地金をあわせた生産量

\*3) 精鉱中の金属純分量(Olympic Dam 鉱山・精錬所の精錬金、精錬銀を含む)

\*4) 精鉱中の金属純分量

\*5) ニッケル地金及びニッケルマット中の金属純分量(Nickel West)

\*6) 精鉱中のウラン酸化物量

\*7) Earnings before interest and tax

出典)BHP Billiton Production Report for the year ended 30 September 2008, 22 October 2008

### (1) トピックス

- ・2008年Q3では、Hunter Valley 燃料炭(NSW州)、Area C 鉄鉱石(WA州)、Saraji 原料炭(QLD州)、Samarco 鉄鉱石(ブラジル)、Samancor マンガン・プロジェクト(南ア)、Cerrejon 燃料炭(コロンビア)、Zamzama ガス(パキスタン)では最高の生産量を記録した。
- ・顧客の需要に対応した結果、鉄鉱石の出荷が最高量を記録した。
- ・Olympic Dam 鉱山(SA州)で最高の採掘量を記録した。
- ・Kalgoorlie ニッケル製錬所(WA州)は予定より早く炉の改装工事が完了した。

出典)BHP Billiton Production Report for the year ended 30 September 2008, 22 October 2008

## (2) 財務状況

(単位 : m US\$)

	2007年			2008年	
	通年	H1*1	H2	H1*2	H2
売上高	50,899	25,360	25,539	33,934	
当期利益	13,265	7,248	6,017	9,373	
売上高利益率(%)	26.06	28.58	23.56	27.62	
探鉱費*3	1,173	575	598	308	

\*1 2006年7月~2007年6月の12か月分から2006年7月~2006年12月の6か月分を差引いた数値

\*2 2007年7月~2008年6月の12か月分から2007年7月~2007年12月の6か月分を差引いた数値

\*3 石油を含む

出典) BHP Billiton Result for the Year ended 30 June 2008, 18 August 2008

BHP Billiton Result for the Half Year ended 31 December 2007, 6 February 2008

BHP Billiton Result for the Year ended 30 June 2007, 22 August 2007

BHP Billiton Result for the Half Year ended 31 December 2006, 7 February 2008

## (3) 生産状況

## ① 主要鉱産物の生産状況

鉱産物	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱 (k t) *1	805.5	190.7	196.9	194.5	211.8	190.7	221.0	159.4	
銅地金 (k t) *2	550.1	138.2	145.2	113.3	136.3	138.2	169.7	149.5	
鉛鉱 (t) *3	258,234	67,885	62,726	61,521	70,544	67,885	53,176	58,252	
亜鉛鉱 (t) *1	139,974	35,970	39,148	37,259	27,807	35,970	43,454	41,716	
金 (t) *3	5.7	1.1	1.6	1.3	1.4	1.2	1.2	1.3	
(oz) *3	182,374	36,216	52,443	40,313	45,714	37,515	38,424	41,751	
銀 (t) *3	1,420.8	349	361.6	346.0	370.3	349	287.3	320.4	
(k oz) *3	45,679	11,221	11,625	11,124	11,905	11,221	9,236	10,300	
ウラン (U <sub>3</sub> O <sub>8</sub> : t) *4	3,995	993	988	933	1,191	993	1,027	1,110	
ニッケル (k t) *5	175.8	43.0	47.7	38.6	43.7	43.0	42.6	26.8	
モリブデン鉱石 (t) *1	2,153	580	493	693	679	580	590	608	
マンガン鉱石 (k t)	6,029	1,666	1,519	1,445	1,613	1,666	1,851	1,830	
マンガン合金 (k t)	775	192	186	184	209	192	190	203	
アルミナ (k t)	4,539	1,095	1,144	1,153	1,157	1,095	1,149	1,098	
アルミニウム (k t)	1,340	318	334	337	338	318	305	309	
鉄鉱石 (k t) *6	102,884	28,419	25,941	26,001	27,916	28,419	29,924	29,824	
原料炭 (k t) *7	39,431	6,846	11,132	9,572	9,643	6,846	9,132	9,210	
燃料炭 (k t)	83,445	19,264	22,283	19,623	20,609	19,264	21,353	18,796	
石油等 (m boe) *8	118.69	32.73	30.47	30.34	30.20	32.73	36.23	34.80	

\*1 精鉱中の金属純分量

\*2 カソード

\*3 精鉱中の金属純分量(Olympic Dam 鉱山・精錬所の精錬金、精錬銀を含む)

\*4 精鉱中のウラン酸化物量

\*5 ニッケル地金及びニッケルマット中の金属純分(Nickel West)

\*6 Wet t(湿潤重量 t)

\*7 一部、燃料炭を含む

\*8 boe : 石油換算バレル

出典) BHP Billiton Production Report for the year ended 30 September 2008, 22 October 2008

② 主要保有鉱山、製錬所の生産状況

鉱山名、製錬所名	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
Escondida (銅:k t)*1	692.9	157.0	170.5	167.0	177.3	157.0	178.2	116.8	
Escondida (銅カソード:k t)	137.1	30.1	37.7	30.9	30.3	30.1	40.3	35.6	
Cerro Colorado(銅カソード:k t)	98.8	28.7	20.3	23.1	27.3	28.7	27.3	21.8	
Spence (銅カソード:k t)	129.3	41.6	37.7	23.9	34.2	41.6	43.0	35.7	
Antamina (銅:k t)*1	107.4	24.1	26.4	27.5	29.3	24.1	30.8	28.4	
Pinto Valley (銅:k t)	5.2	9.6	-	-	5.2	9.6	12.0	14.2	
Pinto Valley(銅カソード:k t)	7.3	1.8	1.9	1.8	1.7	1.8	1.6	1.6	
Olympic Dam(銅カソード:ER k t)	165.1	32.9	44.1	30.6	40.2	32.9	53.2	51.9	
Olympic Dam(銅カソード:EW k t)	12.5	3.1	3.5	3.0	2.6	3.1	4.4	2.9	
Cannington (鉛:t)*1	256,825	67,505	62,409	61,073	70,369	67,505	52,601	57,768	
Antamina (鉛:t)*1	1,409	380	317	448	175	380	575	484	
Cannington (亜鉛:t)*1	56,440	13,735	11,355	14,503	15,487	13,735	17,244	14,449	
Antamina (亜鉛:t)*1	83,534	22,235	27,793	22,756	12,320	22,235	26,210	27,312	
Escondida (金:t)*1	2.8	0.5	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	0.4	
(金:oz)*1	89,567	17,660	23,754	23,194	21,376	17,660	17,501	14,391	
Olympic Dam (金:t)*2	2.9	0.6	0.9	0.5	0.8	0.6	0.6	0.9	
(金:oz)*2	92,807	18,555	28,689	17,119	24,338	18,555	20,505	27,360	
Escondida (銀:t)*1	121.4	24.6	30.8	34.7	27.3	24.6	25.5	20.8	
(銀:k oz)*1	3,903	790	990	1,116	877	790	821	668	
Antamina (銀:t)*1	105.5	25	29.1	32.8	20.3	25.0	30.9	29.0	
(銀:k oz)*1	3,391	803	934	1,056	652	803	994	932	
Cannington (銀:t)*1	1,165.4	293	293.2	272.4	314.9	293.0	223.4	261.0	
(銀:k oz)*1	37,469	9,421	9,426	8,759	10,124	9,421	7,181	8,391	
Olympic Dam (t)*1,*3	28.1	5.3	8.6	6.0	7.4	5.3	5.6	7.0	
(銀:k oz)*1,*3	903	169	275	193	239	169	179	244	
Pinto Valley (銀:t)*1	0.4	1.2	-	-	0.4	1.2	1.9	2.0	
(銀:k oz)*1	13.3	-	-	-	13.3	38.4	61.7	65.2	
Olympic Dam (U <sub>3</sub> O <sub>8</sub> :t)*4	3,995	993	988	933	1,191	993	1,027	1,100	
Antamina (Mo:t)*1	2,153	580	493	693	679	580	590	514	
CMSA (ニッケル:k t)*5	49.4	7.8	12.7	12.5	11.4	7.8	10.1	10.7	
Yabulu (ニッケル:k t)*5	28.8	6.2	9.3	5.5	6.0	6.2	10.3	9.1	
Nickel West (ニッケル:k t)*5	97.6	29.0	25.7	20.6	26.3	29.0	22.1	7.0	
Yabulu (Co:k t)*5	1.8	0.3	0.5	0.5	0.4	0.3	0.5	0.4	
Worsley (アルミナ:k t)	3,031	712	768	784	771	712	768	733	
Paranam (アルミナ:k t)	980	247	243	244	252	247	240	241	
Alumar (アルミナ:k t)	528	136	133	125	134	136	141	124	
Hillside (アルミニウム:k t)	709	167	177	178	180	167	170	175	
Bayside (アルミニウム:k t)	190	44	47	48	47	44	29	25	
Alumar (アルミニウム:k t)	176	45	44	44	44	45	45	45	
MozaI (アルミニウム:k t)	265	65	66	67	67	62	61	64	
Mt. Newman JV (鉄鉱石:k t)	30,427	7,265	7,665	7,904	8,147	7,265	7,013	7,210	
Goldsworthy JV (鉄鉱石:k t)	641	386	195	134	170	386	251	232	
Area C JV (鉄鉱石:k t)	21,321	7,114	5,078	4,916	6,474	7,114	8,626	9,209	
Yandi JV (鉄鉱石:k t)	37,531	10,061	9,661	9,823	9,770	10,061	10,622	8,961	
Jimblebar (鉄鉱石:k t)	4,923	1,660	1,341	1,157	1,248	1,660	1,054	1,461	
Samarco (鉄鉱石:k t)	8,041	1,933	2,001	2,067	2,107	1,933	2,357	2,751	
南ア国内 (マンガン鉱石:k t)*6	2,544	877	631	572	709	877	882	929	
豪州国内 (マンガン鉱石:k t)*6	3,485	789	888	873	904	789	969	901	
南ア国内 (マンガン合金:k t)*6	533	125	137	123	141	125	124	133	
豪州国内 (マンガン合金:k t)*6	242	67	49	61	68	67	66	70	
BMA (原料炭:k t)	25,975	4,232	7,442	5,917	6,138	4,232	6,508	6,384	
BHP Mitsui Coal(原料炭:k t)*7	6,094	847	2,047	1,454	1,526	847	1,306	1,633	
Illawarra (原料炭:k t)	7,362	1,767	1,643	2,201	1,979	1,767	1,318	1,193	
南ア国内 (燃料炭:k t)	48,442	11,129	12,596	11,706	11,277	11,129	10,960	9,009	
豪州国内 (燃料炭:k t)	11,218	2,965	2,610	2,918	2,959	2,965	2,934	2,975	

- \*1) 精鉱中の金属純分量
  - \*2) 金地金
  - \*3) 銀地金
  - \*4) 精鉱中のウラン酸化物量
  - \*5) ニッケル精鉱、地金及びニッケルマット中の金属純分量
  - \*6) 100%ベース (BHP Billiton の権益は 60%)
  - \*7) 100%ベース (BHP Billiton の権益は 80%)
- 出典) BHP Billiton Production Report for the year Ended 30 September 2008, 22 October 2008

#### (4) 開発 (非鉄金属)

プロジェクト名 (権益、国)	鉱種	開発費*1 (m US\$)	生産 開始	生産能力*2	進捗状況
Alumar 精錬所拡張 (36%、ブラジル)	アルミナ	900	2009 年 Q2	アルミナ 200 万 t/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直後の予算でのスケジュールで進行中。</li> <li>・為替及びコスト高が他のブラジル・プロジェクトを圧迫。</li> <li>・エンジニアリングは完了、資材調達は順調。</li> <li>・建設は 70%完了。</li> <li>・プロジェクトは 85%完了</li> </ul>
Worsley 精錬所拡張 (86%、WA 州)	アルミナ	1,900	2011 年 H1	アルミナ 110 万 t/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジニアリングと資材調達実施中。</li> <li>・主立った資機材に関しては契約済</li> <li>・現場作業を開始</li> </ul>
Rapid Growth 4 (RGP4) (86.2%、WA 州)	鉄鉱石	1,850	2010 年 H1	鉄鉱石 26m t/年追加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュール、費用とも計画通り (A\$ベース)。</li> <li>・エンジニアリングの進捗は 90%以上。</li> <li>・建設作業の進捗は、48%以上。</li> </ul>
Gemco プロジェクト (60%、北部準州)	マンガン	110	2009 年 H1	マンガン精鉱 1m t/年追加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュール、費用とも計画通り。</li> <li>・建設工事実施中。</li> <li>・資材調達は順調に実施中。</li> <li>・プロジェクトは 65%完了</li> </ul>

\*1) 権益相当分 \*2) 100%ベース 注) m: 百万

出典) BHP Billiton Quarterly Report on Exploration and Development Activities Quarter ended 30 September 2008, 22 October 2008

#### (5) 探査

- ・直轄及びジュニア探査企業との提携により、探査を実施。2008 年 Q3 までの 3 か月間の BHP Billiton の探鉱支出額 (石油は除く) は 146m US\$であった。
- ・主な対象鉱種・対象国
  - 銅 : 豪州、チリ、アルゼンチン、DRC コンゴ
  - ニッケル : 豪州、ロシア、コロンビア、アフリカ
  - 鉄鉱石・石炭・ボーキサイト・マンガン : 豪州、南米、ロシア、西アフリカ 他
  - ダイヤモンド初期探鉱 : DRC コンゴ、カナダ

出典) BHP Billiton Quarterly Report on Exploration and Development Activities Quarter ended 30 September 2008, 22 October 2008

#### (6) その他

- ・特になし

### 3. Grupo Mexico (GM)

- ・ 2008 年 Q3 の売上高、純益は、Cananea 銅山のストの長期化により銅生産量は減産となり、各々前年同期比 6.8%減の 17.38 億 US\$、31.4%減の 3.421 億 US\$に留まった。
- ・ Cananea 銅山のストは依然継続。

#### (1) トピックス

- ・ 2008 年 Q3 の売上高は 1,737,633k US\$ (前年同期比 6.8%減)、純益は 342,106k US\$ (同 31.4%減)となり、業績は前期に引き続き低下傾向。
- ・ Asarco 社は依然として米国破産法第 11 条に基づく会社更生手続の途上にある。Asarco 社役員会は負債返還のための資産売却を承認したが、GM はこれに反対している。米国破産裁判所は Asarco 社の排他的な再建策提出期限を 2008 年 11 月 17 日まで延長する一方、GM に独自の同社再建策を提出することを認めた。
- ・ ペルーの Tía María 銅プロジェクトへの投資は計画どおり進行しており、9 月 30 日現在、総額 580m US\$ の鉱山機械購入契約に署名済み。

#### (2) 財務状況

(単位：m US\$)

	2007 年					2008 年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Sales	7,087.3	1,575.4	2,088.9	1,865.3	1,557.7	1,736.1	1,758.2	1,737.6	
当期損益 Net Income	1,668.7	437.9	524.8	498.9	207.1	452.6	451.7	342.1	
売上高利益率	23.5%	27.8%	25.1%	26.7%	13.3%	26.1%	25.7%	19.7%	
全投資額(*)	639.2	127.6	130.1	169.5	212	97.7	172.1	186.3	

(\*) 探鉱費のほか他の投資額を含む全額

#### (3) 生産状況

##### ① 主要鉱産物

	2007 年					2008 年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
銅 (k t)	594.5	171.6	159.2	136.8	125.9	127.9	117.3	118.7	
銀 (t)	473.7	140.1	131.5	107.4	94.7	96.1	95.8	94.5	
金 (k g)	703.0	235.0	204.0	145.0	119.0	127.0	112.0	113.0	
モリブデン (k t)	16.21	3.68	3.88	4.39	4.26	3.92	3.90	4.54	
亜鉛 (k t)	121.1	32.4	33.4	29.3	26	24.8	27.6	26.9	
鉛 (k t)	19.4	4.5	4.9	4.9	5.1	5.2	5.3	5.0	

#### (4) その他

- ・ GM の製錬所は、MM 3、SCC 2 の計 5 か所。
- ・ 鉄道部門子会社 ITM の純益は、前期 57.5m US\$、当期 40.7m US\$ と安定収益を確保。

(参考) GM の組織 (( )内は GM の権益比率)

鉱業部門：AMC (100%) - SCC (75.1%) - MM (0.85%)

└ ASARCO (100%) 【米破産法申請中(2007年3月31日現在)】

鉄道部門 ITM (75%) - GFM (100%) - FERROMEX (74%)

└ FERROSUR (100%)

(注) SCC (Southern Copper Co.) は、SPCC (Southern Peru Copper Co.) から社名変更 (2005/10/11)。

m：百万

ペルー、メキシコ、チリで活動中。MM の権益の 99.15% を保有。

#### 4. Rio Tinto

(四半期別の財務状況報告がないため、財務状況報告は最新のものを使用)

- ・ Kennecott Utah 銅山の鉱石品位が回復したものの、Escondida 銅山の操業停止が影響し、前年同期と比較して銅鉱石の生産量が7%減の160ktとなった。

##### (1) トピックス

- ・ Escondida において、Q3 中に、ミルの動力系統に影響を及ぼす電気系統トラブルによりミルの運転停止が頻発し、10月10日分の銅精鉱の出荷にフォース・マジェール(不可抗力条項)が宣言された。ミルの停止期間は10日間に及び約1万tの銅生産に影響が及んだ。この問題の解決には、9か月間を要し、15%の減産が見込まれている。
- ・ ウランの生産量が前年同期と比較して13%増の3,507klbsとなった。これは、前年に剥土を行っていた Rossing 鉱山での粗鉱品位上昇等によるものである

##### (2) 財務状況

(単位：mUS\$)

	2007年				2008年				
	通年計	H1	H2		H1	H2			
売上高	33,518	13,930	19,588		30,005				
当期利益	7,312	3,253	4,059		6,914				
売上高利益率(%)	21.82%	23.35%	20.72%		23.04%				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
探鉱費	570	72	122	154	222	159	242	260	

##### (3) 生産状況

###### ① 主要鉱産物の生産状況

(単位：kt 純分)

	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱石	737.9	198.1	186.5	172.5	180.8	181.1	210.2	160	
銅地金	390	101.6	100.7	98.7	89	78.3	82.8	68.9	
モリブデン鉱石	14.9	4.7	3.8	3.5	3	3.4	2.2	2.9	



②主要保有鉱山、製錬所の生産状況

(単位：kt 純分)

鉱山名、製錬所名	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
Bingham Canyon (銅鉱)	212.2	54.1	55.6	49.5	53	44.7	60.2	69.3	
Escondida(銅鉱)	421.6	111.5	105.2	101.2	103.8	117.2	128.1	73.2	
Grasberg(銅鉱)	28.4	5.8	5.6	7.5	9.4	2.4	2.4	2.4	
Northparks(銅鉱)	34.5	13.7	9.9	5.6	5.3	4.1	4.4	5.2	
Palabora(銅鉱)	41.2	13	10.2	8.7	9.3	12.8	15.1	9.9	
Kennecott Utah Copper (SxEw 銅カソード)	265.6	69.7	67.9	68.7	59.3	52.1	49.3	40.6	
Escondida (SxEw 銅カソード)	71.5	19.9	19.7	16.1	15.8	15.7	21	18.6	
Palabora (SxEw 銅カソード)	52.9	12	13.2	13.8	13.8	10.5	12.4	9.8	

(4) その他

- ・ 特になし

注)m：百万、k：千

## 5. Freeport-McMoRan Copper & Gold (FCX)

- ・生産量は増大するも金属価格の下落、コスト上昇により利益は大幅減少(対 Q2 比 45%減)。
- ・2008 年投資額は 27 億 US\$を見込む(Q3 までの実績 19 億 US\$)も、今後については世界的な経済状況を踏まえ見直し中。

### (1) トピックス

#### ① 開発

- ・北米事業：生産能力 240m lb(109kt)/年の Safford 銅山の建設を完了し、2007 年末から生産を開始している。Q1 には 22m lb(10kt)、Q2 には 24m lb(11kt)、Q3 には 43m lb(20kt)を生産した。
- ・2007 年 12 月、FCX は米・CO 州 Leadville の Climax モリブデン鉱山の再開計画を発表した。5 億 US\$を投じて露天掘ピット、選鉱場を建設し、2010 年の生産開始を計画(年産 3 千万 lb(14kt))している。2008 年 Q1 に開発のための主だった許可は取得しており、Q2 に建設工事に着手した。
- ・南米事業：El Abra 銅山(チリ)では大規模硫化鉱床の開発に着手。酸化鉱の SxEw から硫化鉱の SxEw に切り替え、生産期間を 10 年以上延長する。硫化鉱の生産は 2010 年に開始し、2012 年以降は 325m lb(147kt)/年を生産する予定である。投資総額は 4 億 5 千万 US\$を見込む。2008 年 3 月に環境影響評価許可を取得済み。
- ・インドネシア事業：Grasberg 銅山では採掘部の深部化に伴い生産コストが上昇することから露天掘から坑内掘へ移行するための工事を進めている。また、隣接する DOZ (Deep Ore Zone) 鉱床からの粗鉱生産は 50kt から Q2 には 66kt/日まで達成したが、Q3 では 61kt/日であった。2010 年までに 80kt/日に増強する予定である。Big Gossan 鉱床は、2011 年には 7kt/日の粗鉱生産を計画している。
- ・アフリカ事業：DRC コンゴ・Katanga 州で Tenke Fungurume 銅・コバルト鉱山開発(所有権益 57.75%)を手掛ける。第一段階として埋蔵量 1 億 t(品位 Cu 2.3%、Co 0.3%)を開発中。生産開始は 2009 年 H2 を予定。当面は高品位部(品位 Cu 4.6%、Co 0.4%)を対象に、年産銅 250m lb(113kt)、コバルト 18m lb(8kt)の体制で操業し、近い将来の拡大を目指しているものの、その時期については経済状況、市況等を考慮して判断する。投資計画額は 2007 年 10 月の 9 億 US\$から 2008 年 4 月には 17 億 5 千万 US\$に拡大した。投資額の 70%を FCX が負担する。2008 年 9 月末現在の支出額は 10 億 US\$。現状、コンクリートの打設、タンクの設置、構造用鉄骨の組み立て、インフラ工事が進んでいる。

#### ② 探鉱

- ・既存鉱山周辺探鉱を主体に実施中である。2008 年の探鉱費は 2.75 億 US\$を見込んでいるが、市場動向によっては減額する可能性もある。これまでの探鉱の結果、北米では Morenci、Bagdad、Sierrita、南米では Cerro Verde、アフリカでは Tenke Fungurume において、それぞれ埋蔵鉱量増大の可能性を示唆する良好な結果を得ている。また、北米、Safford 銅山から 6.4km 離れた Lone Star 銅鉱床をターゲットにボーリング調査を実施中である。さらに、インドネシアでは Deep Grasberg・Kucing Liar Complex の拡張試験、Ertsberg East と Grasberg 鉱山間でのアクセス坑道を利用しての鉱床評価、Ertsberg 露天掘再開のための Ertsberg pit 下部の資源量評価を実施中である。

## (2) 財務状況

(単位 : m US\$)

	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 (Revenues)	16,939	2,246	5,443	5,066	4,184	5,672	5,441	4,616	
営業利益 (Operating income)	6,555	1,172	2,354	1,877	1,152	2,396	2,053	1,133	
純利益 (Net income applicable to common stock)	2,769	476	1,104	775	414	1,122	947	523	
売上高利益率	16.3%	21.2%	20.3%	15.3%	9.9%	19.8%	17.4%	11.3%	
探鉱費 (Exploration and research expense)	145	7	40	40	58	52	80	77	

## (3) 主要鉱産物の生産状況

鉱種	鉱山	2007年					2008年			
		通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
銅 (kt : 金属 純 分)	Morenci (85%) *	312	72	83	85	72	66	70	74	
	Bagdad	92	19	23	26	23	24	24	27	
	Sierrita	68	17	16	19	17	19	22	21	
	Chino	86	19	20	22	25	20	21	16	
	Tyrone	23	6	5	5	6	7	7	10	
	Miami	9	1	3	3	2	2	2	2	
	Tohono	1	-	-	-	-	-	-	-	
	Safford	-	-	-	-	-	10	11	20	
	その他	8	3	2	1	2	1	-	-	
	北米計	599	137	152	162	148	148	159	170	
	Cerro Verde (53.56%)	269	51	64	78	77	75	81	79	
	Candelaria/Ojos del Salado (80%)	205	45	49	54	58	45	44	58	
	El Abra (51%)	166	43	40	40	43	39	42	42	
	南米計	641	139	153	171	177	160	167	179	
	Grasberg (90.64%) *	522	212	135	80	94	91	101	116	
	インドネシア計	1,762	488	440	413	420	399	427	464	
	他社権益分	-296	-73	-72	-74	-77	-72	-77	-80	
合計	1,466	415	368	339	343	327	350	385		
金 (t)	北米	1	0	0	0	0	0	0	0	
	南米 (80%)	4	1	1	1	1	1	1	1	
	インドネシア (90.64%) *	68	33	25	6	5	8	7	8	
	小計	72	34	26	7	6	9	8	9	
	他社権益分	-7	-3	-3	-1	-1	-1	-1	-1	
合計	65	31	23	6	5	8	7	8		
モリブ デン (kt : 金属 純 分)	Henderson	18	5	5	5	4	4	5	6	
	北米 (副産物) *	14	3	4	4	3	4	3	3	
	Cerro Verde (53.56%) ・ (副産物)	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	32	8	8	8	8	8	8	10		

\* JV相手の権益分を除いた生産量である

注) m : 百万、k : 千

## 6. KGHM Polska Miedz (KGHM)

- ・2008年Q3の売上高は、PLN高および銅価格の下落等により前年同期比20%減の2,720mPLN。当期利益は、銅販売量の減少等により、前年同期比38%減の718mPLNとなった。

### (1) トピックス

- ・2008年Q3の生産量は、電気銅が133k t(外部からの調達原料31k tを含む)、銀が253 tであった。
- ・売上高は、対US\$平均レート2.20 PLN/US\$(前年同期2.76 PLN/US\$)とPLN高となり、また、銅の平均LME価格が7,693 US\$/t(前年同期7,714 US\$/t)と下落したため、銀の平均LBM価格が15.09 US\$/oz(前年同期12.70 US\$/oz)と上昇し、銅販売量が133k tと(前年同期132k t)増加したものの、PLN高、同価格の下落等の影響により、前年同期比20%減となった。
- ・操業コスト(Operating Costs)は、1.983m PLNで、前年同期比4%増(79m PLN増)となった。エネルギーコストの上昇や賃金上昇によるコストの増加等が原因となっている。

### (2) 財務状況

(単位:kPLN)

	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Sales(mUS\$)	5,003	910	1,146	1,280	1,196	1,346	1,429	1,147	
Sales(kPLN)	2,183,113	2,643,492	3,216,585	3,410,701	2,912,335	3,002,314	3,028,621	2,719,651	
当期利益 (mUS\$) Profit for the period	1,560	315	323	436	325	440	393	303	
(kPLN)	3,798,826	914,265	906,980	1,162,901	791,680	982,196	832,494	718,114	
売上高利益率(%)	31.18%	34.59%	28.91%	34.10%	27.18%	32.71%	27.48%	26.40%	
為替レート (PLN/US\$)*	2.435	2.9058	2.8074	2.6647	2.435	2.2305	2.1194	2.3708	

\*注：為替レートはIMFによる。

### (3) 生産状況

#### ① 主要鉱産物の生産状況

(単位:t 純分)

	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
銅地金(t)	532,974	128,592	132,474	138,247	133,661	128,947	129,000	133,000	
銀(t)	1,215	322	286	308	299	292	308	253	

### (4) その他

- ・特になし

## 7. Antofagasta Plc

- ・ 2008 年 Q3 の銅生産量は 123,700t で対同年前期比 3.9%増、対前年同期比 22.9%増となった。これは主として Los Pelambres の鉱石の銅高品位によるものである。
- ・ Los Pelambres のモリブデン生産量は 1,900t で対同年前期比 5.0%減となった。鉱石処理量は低下したが、モリブデン回収率の上昇で相殺した。
- ・ グループのキャッシュコストは 76.4¢/lb で前期の 72.3¢/lb よりやや上昇した。これは現場コスト上昇とバイプロクレジットの低下(モリブデン生産量の低下)による。

### (1) トピックス

#### [主要プロジェクトの探鉱・開発状況探鉱]

- ・ Esperanza プロジェクト(チリ第Ⅱ州)： 2008 年 6 月に EIA(環境影響評価書)の承認を得た。剥土は 9 月末現在で 11.4%完了。建設作業は Q3 中にフル稼働となった。2010 年末までに生産開始予定。
- ・ Reko Diq プロジェクト(パキスタン)と Antucoya プロジェクト(チリ第Ⅱ州)では F/S が継続中で、2009 年 H1 に完了予定。

#### [保有鉱山の拡張(減産)計画]

- ・ Los Pelambres： 対同年前期比で銅生産量 6.3%増、モリブデン生産量 5.0%減であった。キャッシュコストは 40.0¢/lb で前期の 34.6¢/lb よりやや上昇した。2008 年 Q1~Q3(9 か月)のキャッシュコストは 37.4¢/lb で、前年同期の-12.1¢/lb より 49.5¢/lb 上昇した。これは主として現場コストと輸送コストの上昇、バイプロクレジットの低下による。  
2008 年 7 月にチリ水道局が発行した水利権の正当性を裁判所が認め、Mauro 廃滓ダム建設工事継続の許可が下りた。地権者と争っていた残り 1 件の訴訟も 10 月 23 日に和解が成立し、11 月からダム操業を開始できる見込みとなった。
- ・ El Tesoro： 対同年前期比で銅カソード生産量は 5.2%減であった。これは主として鉱石処理量の低下及び鉱石の高い水分と粘土含有量に起因する銅回収率の低下によるものである。
- ・ Michilla： 対同年前期比で銅カソード生産量は 6.0%増であった。

#### [企業、鉱山、開発権益等の買収売却、アライアンス情報]

- ・ 2008 年 8 月 25 日付で Esperanza プロジェクトと El Tesoro 鉱山の 30%権益を丸紅株に売却した。売却費用は総額で 14.01 億 US\$。
- ・ 2008 年 4 月の MOU 締結に引き続き 10 月に ENAP(チリ国営石油会社)とチリ国内で地熱資源の探査と開発を実施することに合意した。この契約に基づき、新会社 Energia Andina S.A. 社が資本金 15 百万 US\$で設立された。出資比率は Antofagasta 60%、ENAP 40%である。

## (2) 財務状況

(単位：百万 US\$)

	2007 年			2008 年	
	通年計	H1	H2	H1	Q1
売上高	3,826.7	1,942.1	1,884.6	2,407.0	903.3
当期利益	1,382.1	728.4	653.7	792.8	-
売上高利益率(%)	36.1	37.5	34.7	32.9	-
探鉱費	38.1	16.1	22.0	22.4	-

## (3) 生産状況

## ① 主要鉱産物の生産状況

(単位(純分)：kt)

	2007 年					2008 年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱(千 t)	428.1	105.9	106.1	100.6	115.4	114.6	119.0	123.7	
モリブデン鉱(千 t)	10.2	2.1	2.8	2.5	2.7	1.8	2.0	1.9	
キャッシュコスト(¢/lb)	31.6	35.8	24.8	30.1	35.3	72.2	72.3	76.4	

## ② 主要保有鉱山の生産状況

(単位：Cu 純分：kt)

	2007 年					2008 年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
Los Pelambres (60%)	289.9	70.7	71.1	66.0	81.6	79.1	84.7	90.0	
El Tesoro (70%)	93.0	23.6	23.2	22.5	23.7	23.9	22.7	21.5	
Michilla (74.2%)	45.1	11.6	11.8	11.4	10.2	11.5	11.6	12.3	

## (4) その他

なし

## 8. Anglo American

(四半期別の財務状況報告がないため、財務状況報告は最新のものを使用)

- ・銅、亜鉛、ニッケルの生産量は、前年同期比でそれぞれ 12.3%減、0.4%減、9.7%減
- ・プラチナ、パラジウム、ロジウムの生産量は、前年同期比でそれぞれ 11.1%減、6.2%減、6.6%減

### (1) トピックス

- ・Black Mountain 亜鉛鉱山と Gamsberg 亜鉛プロジェクトの権益の 26%を Exxaro Resources (南ア) に 2 bil ZAR (245mUS\$) で売却した。
- ・Eskom 社 (南ア電力公社) と南アにおける完全な電力供給を保証するための解決策の実施とその確認のための了解覚書 MOU (Memorandum of Understanding) が締結された。

### (2) 財務状況

(単位: mUS\$)

	2007 年			2008 年	
	通年計	H1	H2	H1	H2
売上高	35,674	19,849	15,825	17,915	
当期利益	7,304	3,379	3,925	4,281	
売上高利益率 (%)	20.47%	17.02%	24.80%	23.90%	
探鉱費	157	55	102	98	

### (3) 生産状況

#### ① 主要鉱産物の生産状況

(純分)

	2007 年					2008 年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱 (t)	655,000	146,387	161,913	170,300	176,400	159,000	161,000	148,600	
ニッケル鉱 (t)	25,600	6,462	6,438	6,200	6,500	4,600	5,000	5,600	
亜鉛鉱 (t)	343,100	82,072	86,428	86,800	87,800	82,000	88,200	86,500	
鉛鉱 (t)	62,100	16,903	13,497	13,500	18,200	17,100	14,700	16,700	
金 (t)	3.1	0.8	0.8	1.5		0.7	0.4	N/A	
(oz)	99,000	26,800	24,600	47,600		23,700	14,100	N/A	
白金 (t)	78.0	17.6	20.3	19.0	21.1	13.3	17.8	16.9	
(oz)	2,508,800	565,100	652,300	611,300	679,800	428,600	572,500	543,200	
パラジウム (t)	43.7	10.2	10.9	10.7	12.0	7.6	9.4	10.0	
(oz)	1,406,200	326,800	349,300	342,800	387,300	245,800	300,800	321,700	
ロジウム (t)	10.4	2.4	2.7	2.5	2.8	1.8	1.8	2.3	
(oz)	333,100	78,400	85,300	80,600	88,800	57,500	59,400	75,300	

### (4) その他

- ・特になし

## 9. Barrick Gold

- ・ 2008年Q3はHighland Gold Miningなどへの資産運用投資の投資評価損を計上したため、今期の純利益は昨年同期と比較して約26%減少し、254m US\$となった。
- ・ 2008年Q3の金生産量は1,950k ozでキャッシュコストは466 US\$/oz、銅生産量は39k tでキャッシュコストは1.60 US\$/lbである。

### (1) トピックス

- ・ タンザニア Buzwagi プロジェクトの開発は約80%が終了し、2009年中頃には金生産開始の予定。
- ・ 米・NV州 Cortez Hill プロジェクトは500m US\$の当初計画の資本コスト内で順調に進んでおり、2008年末にはROD(Record of Decision)を得られる予定。生産は2010年前半に開始される見込み。
- ・ 米・NV州 Turquoise Ridge プロジェクトはNorth High Grade Bullion ゾーンの見見により、現在1,500 ftの坑道をさらに1,000 ft延長し、高品位鉱化帯の調査を行っている。現段階で、同ゾーンには金量数百万ozを見込む。
- ・ ドミニカ(共和国)Pueblo Viejo プロジェクトは旧設備の解体作業と敷地造成が大幅に進展。
- ・ アルゼンチン Pascua-Lama プロジェクトは水利権などの主要な権利をSan Juan州政府及びアルゼンチン政府から認可されるなど前進が見られる一方で、チリとアルゼンチン国境間の税制隔差対策が未確定。

### (2) 財務状況

(単位:m US\$)

	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Sales	6,332	1,089	1,642	1,684	1,917	1,958	1,967	1,878	
営業利益	2,142	132	623	568	819	942	821	588	
当期損益 Net Income	1,119	-159	396	345	537	514	485	254	
売上高利益率	17.7%	-14.6%	24.1%	20.5%	28.0%	26.3%	24.7%	13.5%	
探鉱費 Exploration	179	30	40	48	61	43	54	55	

注) 営業利益は、売上高からコスト(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)及び原価償却費を差引いたもの

### (3) 生産状況

#### ① 主要鉱産物の生産状況

(純分)

鉱産物	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
金 (t)	250.7	63.1	60.9	60.1	66.7	54.2	57.8	60.5	
(k oz)	8,060	2,029	1,957	1,931	2,143	1,743	1,857	1,945	
銅 (k t)	182	45	46	45	46	39	39	39	



② 主要保有鉱山の生産状況

(純分)

鉱山名	2007 年					2008 年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
Porgera* (Au; t)	15.1	2.3	3.0	4.8	4.9	4.5	4.7	5.1	
(Au; k oz)	487	75	98	155	159	144	152	165	
Cortez* (Au; t)	10.0	2.1	2.9	2.5	2.6	2.6	3.2	3.1	
(Au; k oz)	323	68	92	80	83	83	103	102	
Lagunas Norte (Au; t)	33.7	8.9	8.9	7.2	8.7	7.3	8.1	10.9	
(Au; k oz)	1,085	287	285	232	281	234	262	353	
Zaldívar* (Cu; kt)	142	36	35	36	35	33	31	29	

注) \*印は旧 Placer Dome 社所有鉱山

## 10. Newmont

- ・ 2008 年 Q3 の GAAP ベース純利益は 196m US\$ で、世界的な金融市場の不安定な状況下、厳密なプロジェクト審査の遂行や各プロジェクト運営状況の注視などを徹底し、今期は当初の金売上予想を維持。

### (1) トピックス

- ・ 2008 年 Q3 は当初の金売上予想量を維持し、2008 年の金売上量は 5,100~5,400k oz となる見込み。キャッシュコストも 425~450US\$/oz を維持した。今後、キャッシュコストは石油価格 10US\$ の変化で 1US\$/oz、対 A\$ 為替レート 0.10 の変化で 1 US\$/oz の変動が予想される。
- ・ Getchell と Yukon-Nevada 精錬所の一時的な操業停止が続いていること、Carlin South と Twin Creeks、Midas の処理量が予定を下回ったことから、Nevada の所有鉱山の金出荷量は 544k oz (キャッシュコスト:497US\$/oz) と予想を下回った。
- ・ 金精錬所の処理量が上がったこと、金の回収量が予想より多かったこと、品位が高かったことなどから、ペルー-Yanacocha 鉱山の金出荷量は 225k oz (キャッシュコスト:362 US\$/oz) で予想を上回った。
- ・ 豪州及びニュージーランド地域の金出荷量が予定を上回った。これは Jundee での回収量と品位が予想を上回ったこと、Waihi での高品位鉱石処理量が Kalgoorlie と Tanami の低品位鉱石処理量を上回ったこと、そして A\$ の為替レートが今期は優位になったことなどが要因である。

### (2) 財務状況

(単位 : m US\$)

	2007 年					2008 年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Revenues	5,526	1,224	1,276	1,616	1,410	1,943	1,522	1,392	
営業利益(注)	1,962	292	347	732	※591	970	579	393	
当期損益 Net income	-1,886	68	-2,062	397	-289	370	277	196	
売上高利益率	34.1%	5.6%	-161.6%	24.6%	-20.5%	19.0%	18.2%	14.1%	
探鉱費 Exploration	177	39	46	47	45	39	59	57	

注) 営業利益は売上高からコスト(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)及び原価償却費を差引いた値であり、評価損等は含まない。例えば、売上 1,410m US\$-支出(金生産コスト 630m US\$+銅生産コスト 98m US\$+減価償却、減耗控除、債務償還 163m US\$)=591m US\$。なお、総支出は 2,211m US\$となっており、探鉱セグメント評価損 1,122m US\$、研究開発費及び投資損等を含んでいる

(3) 生産状況

① 主要鉱産物の生産状況

(純分)

鉱産物	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
金 (t)	164.3	41.7	38.8	41.2	42.5	40.1	39.5	39.7	
(k oz)	5,281	1,342	1,248	1,326	1,365	1,290	1,271	1,277	
銅 (k t)	94	23	22	34	15	21	10	9	

注) 権益分のみ計上。金については、販売量を計上。

② 主要保有鉱山の生産状況

(純分)

鉱山名	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
Nevada(権益 100%)	72.8	17.5	16.5	18.2	20.7	16.9	16.9	17.2	
(Au; 上段:t、下段:k oz)	2,341	562	529	585	665	543	542	552	
Yanacocha(権益 51.35%)	25.0	6.7	4.8	6.0	7.5	8.0	7.1	7.2	
(Au; 上段:t、下段:k oz)	803	215	155	192	241	257	227	230	
Batu Hijau (権益 45% Cu:k t)	97	23	24	35	15	15	11	14	

注) 権益分のみ計上

## 11. Teck

・2008年Q3の純利益は、銅や亜鉛価格の下落などが要因となり、昨年同期を下回る424m C\$となった。

### (1) トピックス

- ・2008年Q3の営業利益は、石炭部門の営業利益が大幅に伸びたものの、2008年Q2後半からの金属価格下落の影響により、126m C\$の下方修正となった。
- ・2008年Q3の操業収益は873m C\$で、9月30日時点での現金残高は1,200m C\$である。
- ・Fording Canadian Coal Trust社の所有資産を買収することで合意し、契約は2008年10月30日に成立予定。これにより、既に権益40%を所有するElk Valley石炭鉱山(石炭生産量世界第2位)の残りの権益60%を獲得することとなる。
- ・現金136m C\$の支払いと690万株の発行により、チリRelincho銅鉱山の買収を完了。
- ・Xstrata Zinc社とのJVで操業していた豪州Lennard ShelfのPillara亜鉛鉱山の閉山を2008年7月14日に発表。同年8月初旬に操業停止。

### (2) 財務状況

(単位:m C\$)

	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Revenues	6,371	1,340	1,561	1,932	1,538	1,571	1,870	1,800	
営業利益(注)	2,738	620	764	894	460	614	879	687	
当期損益 Net earnings	1,615	360	485	490	280	345	497	424	
売上高利益率	25.3%	26.9%	31.1%	25.4%	18.2%	22.0%	26.6%	23.6%	
探鉱費 Exploration	105	20	25	34	26	19	27	44	

注) 営業利益は、売上高からコスト(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)及び原価償却費を差引いたもの

### (3) 生産状況

#### ① 主要鉱産物の生産状況

(石炭以外は純分)

鉱産物	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱石 (k t)	252	53	53	62	84	45	52	79	
亜鉛鉱石 (k t)	698	167	176	190	165	175	171	168	
亜鉛地金 (k t)	292	75	74	71	72	74	61	70	
鉛地金 (k t)	76	22	20	18	16	26	20	18	
モリブデン (t)	3,236	600	703	934	1,000	735	774	770	
(k lb)	7,133	1,322	1,549	2,058	2,204	1,621	1,707	1,699	
石炭 (k t)	9,024	2,046	2,496	2,268	2,214	2,357	2,630	2,152	

注) 権益分のみ計上

② 主要保有鉱山の生産状況

(石炭以外は純分)

鉱山名(権益%)	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
Red Dog(100)									
(Zn: k t)	575	145	142	154	134	139	130	132	
(Pb: kt)	136	33	31	36	36	36	32	29	
Highland Valley(97)									
(Cu: k t)	136	36	35	31	34	26	27	30	
(Mo: t)	1,709	396	352	471	466	352	396	396	
(Mo: k lb)	3,763	873	776	1,039	1,027	776	873	873	
Antamita(22.5%)									
(Cu: k t)	74	17	18	19	20	17	21	20	
(Zn: k t)	66	16	22	18	10	17	21	22	
(Mo: k t)	1,437	194	329	462	452	388	388	347	
(Mo: k lb)	3,169	428	725	1,019	997	855	855	765	
Elk Valley(40)									
(石炭: k t)	9,024	2,046	2,496	2,268	2,214	2,357	2,630	2,152	

注) 権益分のみ計上

## 12. Peñoles

- ・2008年Q3の売上高(Net Sales)は1,214.1m US\$(前年同期比21%増)、当期利益は87.4m US\$(同21%増)であり、好調な業績を維持。
- ・2008年Q1~Q3の金・銀生産量は創業以来の最高を記録。

### (1) トピックス

- ・2008年Q3の売上高は1,214.1m US\$、当期利益は87.4m US\$と高水準を維持。
- ・主力亜鉛鉱山であるFrancisco I. Madero及びBismarkの品位低下、採掘量・回収率の減少等による亜鉛生産量の減少。
- ・Milpillias銅鉱山及びFrancisco I. Madero多金属鉱山の埋蔵量増加。

### (2) 財務状況

(単位：m US\$)

	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	4,261.2	1,025.8	1,125.8	1,001.7	1,007.9	1,365.2	1,357.4	1,214.1	
当期損益	357.3	90.4	110	72.2	84.7	94.3	623.0	87.4	
売上高利益率	8.4%	8.8%	9.8%	7.2%	8.4%	6.9%	45.6%	7.2%	

(注) Peñoles社クォーターレポートには「当期損益」のドル建ての記載がない。上表では同レポート記載のPeso建ての金額と四半期毎の平均レートを用いUS\$に換算した(平均レートは、2007年Q1 11.0121 Peso/US\$、Q2 10.5839 Peso/US\$、Q3 10.9599 Peso/US\$、Q4 10.8503 Peso/US\$、2008年Q1 10.8101 Peso/US\$、Q2 10.4374 Peso/US\$、Q3 10.3113 Peso/US\$である)。

### (3) 生産状況

#### ① 主要鉱産物

(純分)

	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
金鉱 (kg)	12,085	3,213	3,031	2,805	3,037	3,136	3,095	2,749	
金地金 (kg)	54,191	12,921	13,528	13,831	13,912	14,315	14,260	13,059	
銀鉱 (t)	1,448	343.2	377	361.2	367	348.6	369.8	362.3	
銀地金 (t)	3,424	836.5	880.8	845.3	861.6	852.1	929.9	960.8	
鉛鉱 (t)	62,089	12,764	16,774	15,845	16,706	15,070	15,531	15,356	
鉛地金 (t)	140,518	34,105	35,583	35,441	35,389	35,788	36,168	34,243	
亜鉛鉱 (t)	194,058	49,657	47,589	50,328	46,483	45,644	46,004	45,229	
亜鉛地金 (t)	229,112	53,428	60,396	58,272	57,015	49,774	57,330	57,143	
銅鉱 (t)	18,703	3,368	4,430	5,674	5,231	5,835	6,677	7,123	
銅地金 (t)	7,383	1,962	1,890	1,727	1,804	1,879	1,883	1,491	
ビスマス (t)	1,183	312	282	291	298	234	312	307	

(4) 輸出状況

② 主要鉱産物

(単位：t)

	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
銀地金	2,857.7	746.1	776.9	701	633.7	764	762.1	691.7	
鉛地金	12,419	4,799	4,122	470	3,028	1,831	8,142	4,035	
亜鉛地金	146,315	33,346	39,835	37,131	36,003	26,536	39,050	36,315	
銅地金	6,299	1,176	1,927	1,433	1,763	1,192	808	1,250	
ビスマス	1,089	311	278	219	281	199	223	317	

(5) その他

Peñoles の主要鉱山は、Fresnillo (フレスニージョ：金・銀・鉛・亜鉛)、La Herradura (ラ・エラドゥーラ：金・銀)、La Cienega (ラ・シエネガ：金・銀・鉛・亜鉛)、Francisco I. Madero (フランシスコ・I・マデーロ：亜鉛・鉛)、Tizapa (ティサパ：金・銀・鉛・亜鉛・銅)、Bismark (ビスマルク：亜鉛)、Naica (ナイカ：銀・鉛・亜鉛・銅)、Sabinas (サビナス：銀・鉛・亜鉛・銅)、Milpillas (ミルピージャス：銅(2006年生産開始))である。

### 13. PT Antam

- ・フェロニッケル生産量 5,512t。前期比 33%、前年同期比 57%増
- ・ニッケル鉱石生産量 108 万 t。前期比 43%、前年同期比 19%減

#### (1) トピックス

##### ① Martabe 金山開発参加

2008年7月3日、豪 Oxiana 社(現 OZ Minerals 社)が手掛ける北 Sumatera 州 Martabe 金山開発に権益参加することについて、同社と合意に達したと発表した。これによると、PT Antam と Oxiana は、インドネシア国内における貴金属、ベースメタル等の探鉱、開発、鉱山操業に関し JV 等の形態により協力していくという内容の MOU を締結。その具体策の第 1 段として Oxiana が権益を有する Martabe 金山開発プロジェクトの権益 10%を PT Antam が 66.5 百万 US\$にて購入するというもの。更に 10%の権益を 66.5 百万 US\$で購入するオプション及び5%を市場価格を基にした価格で購入するオプションも有する。ただし、9月30日現在、PT Antam は権益購入をまだ実施していない。

Alwin Syah Loebin 社長は、この MOU の締結及び Martabe 金山開発への参加について、同社の Pongkor 金山の鉱量枯渇状態における新たな金鉱山の確保、ニッケル以外への収益源の多様化という戦略において、重要な第 1 歩であるとしている。

※Martabe 金山開発プロジェクト：埋蔵量 122 百万 t、Au 1.3g/t

##### ② FeNi 製錬用原料鉱石の PT Inco からの購入終了

南東 Sulawesi 州にある Pomalaa FeNi 製錬所用鉱石として PT Inco の東 Pomalaa 鉱山から 2006 年 6 月以降年間約 1 百万 t のサブライト鉱石を購入してきたが、2008 年 7 月 18 日をもって購入を終了した。PT Antam の Pomalaa 鉱山の鉱量はほぼ枯渇しており、北 Maluku 州にある同社のニッケル鉱山(Tanjung Buli、Mornopo、Gee の 3 鉱山)からの鉱石を使用している。PT Inco からの鉱石購入価格はニッケルの国際価格に基づいていたため、自社鉱石の使用により FeNi 製造コストの低減を図れるとしている。なお、2007 年に同製錬所では 18,532t(Ni 純分量)の FeNi を製造したが、その原料鉱石のうち自社鉱山からのものが 325,781wmt(25%)、PT Inco からの鉱石輸入量は 984,426wmt(75%)であった。

※wmt：湿量(湿潤状態の重量)



## (2) 財務状況

(単位 : m Rp)

	2007年					2008年			
	通年計 <sup>(※注1)</sup>	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Net Sales	12,008,202	2,576,840	3,384,289	2,241,317	3,381,394	2,117,014	3,230,412	2,190,278	
当期利益 Net Income	5,132,460	-	-	-	-	-	-	-	
売上高利益率 %	42.7	-	-	-	-	-	-	-	
探鉱費	125,000	-	-	-	-	-	-	-	

売上((1)+(2)) Net Sales	12,008,202	2,576,840	3,384,289	2,241,317	3,381,394	2,117,014	3,230,412	2,190,278	
輸出(1) Export Sales	11,661,423	2,506,183	3,295,662	2,149,002	3,286,857	1,960,073	2,941,979	1,564,000	
・フェロニッケル	5,577,646	1,063,204	1,531,241	782,521	2,200,680	325,099	1,608,293	952,225	
・ニッケル鉱石 (①+②)	4,943,578	1,292,913	1,595,096	984,010	814,031	1,198,213	967,802	468,513	
①高品位鉱 <sup>(※注2)</sup>	3,547,764	940,794	829,222	733,978	527,623	745,606	742,813	384,139	
②低品位鉱 <sup>(※注2)</sup>	1,395,814	352,119	765,874	250,032	286,408	452,607	224,989	84,374	
・金	777,541	148,271	68,129	337,924	223,217	396,345	286,570	81,866	
・銀	66,535	11,504	11,415	14,961	28,655	26,436	23,120	9,802	
・ボーキサイト	129,932	46,928	33,145	29,585	20,274	13,982	56,194	51,593	
国内出荷額(2) Domestic Sales	346,780	70,658	88,626	92,315	95,037	156,941	288,433	626,278	

※注1) 通年計のデータは2007年アニュアルレポートから、四半期データは四半期報告から転記した。

※注2) ニッケル鉱石の分類については、2007年まではサブロライト(品位1.5%以上)とリモナイト(品位1.5%以下)で分類してきたが、2008年から高品位鉱(High Grade: 品位Ni 2%超)と低品位鉱(Low grade: 品位Ni 2%以下)で分類されている。本表では、2007年の高品位鉱はサブロライト、低品位鉱はリモナイトに相当する。

## (3) 主要鉱産物の生産状況

	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
フェロニッケル(t)	18,532	4,352	4,394	3,512	6,274	4,362	4,152	5,512	
ニッケル鉱石(wmt)	7,112,870	1,735,424	2,041,412	1,326,659	1,924,980	2,313,299	1,878,403	1,076,873	
High Grade*(wmt) (品位Ni 2%超)	6,744,383	1,735,424	996,549	734,379	817,529	958,529	1,258,111	815,413	
Low grade*(wmt) (品位Ni 2%以下)	368,487	0	1,044,863	592,280	1,107,451	1,354,770	620,292	261,460	
金(kg)	2,791	770	690	668	663	935	577	561	
銀(kg)	24,126	6,199	6,099	5,650	6,177	7,633	5,734	5,162	

\*ニッケル鉱石の分類については、同社は2007年まではサブロライト(品位1.5%以上)とリモナイト(品位1.5%以下)で分類してきたが、2008年からHigh Grade(品位2%超)とLow grade(品位2%以下)で分類して発表している。このためこの表では、2007年の「通年計」及び「Q4」ではHigh Gradeの行はサブロライト、Low gradeの行はリモナイトを示している。

(4) 探鉱

当期の探鉱費は、ラテライトニッケル、金、ボーキサイトを対象に 459 億 Rp を支出した。うちニッケル探鉱分は 280 億 Rp、金は 88 億 Rp、ボーキサイトは 46 億 Rp、石炭は 46 億 Rp。探鉱地域は次のとおり。

<ニッケル>

州	探鉱地域	調査内容	探鉱支出額 (m Rp)
ハルマヘラ		ボーリング調査 20,200m ほか	16,300
	Kawasi, Obi	ボーリング調査 210m ほか	2,800
中央スラウェシ	Tangofa, Buleleng	—	880
南東スラウェシ	Tapunopaka	ボーリング調査 5,004m ほか	1,800
	Baunaga, Pandua, Lalindu	ボーリング調査 5,634m ほか	3,200
		ボーリング調査 2,491m ほか	1,900

<金>

州	探鉱地域	調査内容	探鉱支出額 (m Rp)
西ジャワ	Pongkor	ボーリング調査 1,900m ほか	1,500
	Papandayan of Garut	ボーリング調査 1,718m ほか	2,300
東ジャワ	Gembes Mountain	—	119
ジャンビ	Muara Maderas	ボーリング調査 1,681m ほか	4,200
西スマトラ	Bonjol	—	—
西ヌサテンガラ	Sumbawa	—	—
北タパヌイ	Tarutung, Garoga	広域地質概査 32,276ha ほか	291
西スラウェシ	Mao, Natuisi, karosa	広域地質概査 15,131ha ほか	412

<ボーキサイト>

州	探鉱地域	調査内容	探鉱支出額 (m Rp)
西カリマンタン	Mempawah & Landak	グリットテストピット	2,200
	Meliau	—	—
	Munggu Pasir	グリットテストピット	1,900
	Tayan	グリットテストピット	562

合併事業は以下のとおり。

合併企業	鉱種	PT Antam 権益(%)	パートナー	ステージ
PT Nusa Halmahera Minerals	金	17.5	Newcrest Singapore Holding Pte Ltd	生産
PT Cibaliung Sumber Daya	金	5	Austindo Resources Corp. NL	開発
PT Dairi Prima Minerals	鉛・亜鉛	20	Herald Resources	建設
PT Weda Bay Nickel	ニッケル	10	Eramet (Weda Bay Minerals)	プレF/S
PT Gag Nickel	ニッケル	25	BHP Asia Pacific Nickel Pty Ltd	プレF/S
PT Sorikmas Mining	金	25	Aberfoyle Pungkut Investment Pte Ltd	探鉱
PT Gorontalo Minerals	金	20	PT Bumi Resources	休止
PT Sumbawa Timur Mining	金	20	Aberfoyle Pungkut Investment Pte Ltd	休止
PT Pelsart Tambang Kencana	金	15	Pelsart International NL, Australia	休止

#### 14. Companhia Vale do Rio Doce (Vale) \*US GAAPに基づく

- ・2008年Q3の売上高は前年同期比49.2%増の12,122百万US\$、営業利益は前年同期比61.4%増の5,535百万US\$、純利益は前年同期比64.1%減の4,821百万US\$となり、売上高、営業利益は過去最高を記録した。
- ・2008年Q3は、鉄鉱石、ペレット、ニッケル、銅、マンガン、アルミニウム等の部門で前年同期比増産となった。鉄鉱石の生産量は前年同期比6.3%増の83,252千t、銅生産量は前年同期比23.2%増の80千t、ニッケル生産量は前年同期比30.9%増の72千tであった。鉄鉱石の生産量はCarajas鉱山、Mariana鉱山の増産により過去最大を記録した。

##### (1) トピックス

- ・2008年Q3の売上高のうち、鉄部門が67.1%、非鉄金属部門が26.8%を占めた。国別売上高は中国が第1位で売上全体の20.5%、以下、ブラジル18.9%、日本10.8%、ドイツ7.3%、米国5.4%となった。
- ・非鉄金属部門の売上は、前年同期比7.2%減の3,245百万US\$となった。これはニッケル価格が下落したためである。非鉄金属部門の売上の内、ニッケルは前年同期比31.1%減の1,358百万US\$、銅は前年同期比8.4%増の603百万US\$であった。
- ・銅生産量は、前年同期比23.2%増の大幅な増産となった。これは、ブラジルSossego鉱山の生産量が前年同期比22.1%増の32,800tとなったことと、カナダのSudbury鉱山、Voisey's Bay鉱山で生産量が増加したことによる。
- ・2008年Q3の企業の社会的責任分野への投資が197百万US\$に達した。このうち、環境保全に係る投資が132百万US\$、社会開発に係る投資が65百万US\$であった。
- ・2008年Q3のR&Dプロジェクトへの投資額は前年同期の206百万US\$から60%増し、331百万US\$となった。R&Dプロジェクトへの投資額が増加した主な理由は、探鉱分野や開発案件への投資額が大幅に増加したことによる。

##### (2) 財務状況

(単位：m US\$)

	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	33,115	7,680	8,899	8,124	8,412	8,048	10,897	12,122	
当期利益	11,825	2,217	4,095	2,940	2,573	2,012	5,009	4,821	
売上高利益率	35.7%	28.9%	46.0%	36.2%	30.6%	25.0%	46.0%	39.8%	
探鉱費	—	—	—	—	—	—	—	—	

## (3) 生産状況

## ① 主要鉱産物生産状況

(単位：k t)

	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
鉄鉱石	295,302	65,645	73,122	78,307	78,228	72,712	76,196	83,252	
ペレット	17,570	4,175	4,311	4,434	4,650	4,380	4,309	*8,474	
マンガン鉱石	1,334	410	706	100	118	541	658	694	
フェロアロイ	542	131	144	130	137	132	128	130	
アルミナ	4,254	978	995	1,123	1,158	1,058	1,063	1,309	
アルミニウム	550	136	137	138	139	132	136	140	
銅	283	77	68	64	74	73	76	80	
カリウム	671	155	163	180	173	166	167	172	
カオリン	1,354	292	327	356	379	297	288	314	
ニッケル	247	61	62	55	69	61	69	72	
コバルト (t)	2,524	579	597	668	680	615	671	750	
白金 (t)	4.4	0.9	1.2	1.3	0.9	1.1	1.3	1.4	
(千 oz)	140	29	39	43	29	36	43	44	
パラジウム (t)	6.0	1.4	1.7	1.6	1.2	1.5	1.7	2.1	
(千 oz)	192	45	55	52	40	48	54	66	
金 (t)	2.3	0.6	0.7	0.7	0.4	0.7	0.6	0.7	
(千 oz)	75	18	21	22	14	22	19	24	

\*2008年Q3より新たに獲得したNibrasco, Kobrascoペレットプラントの生産量を追加

## ② 主要鉱山・製錬所の生産状況

(単位：千 t)

鉱山名・製錬所名	2007年					2008年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
Carajas (鉄鉱石)	91,687	21,568	21,236	24,263	24,620	24,199	23,239	26,751	
Azul (マンガン鉱)	946	322	567	10	47	504	546	561	
Alunorte (アルミナ)	4,254	978	995	1,123	1,158	1,058	1,063	1,309	
Albras (アルミ)	456	113	114	115	114	112	113	115	
Sossego (銅)	117	30	29	26	32	30	30	33	
Sudbury (銅)	112	32	28	23	29	28	29	31	
Sudbury (ニッケル)	81	23	20	19	19	18	20	18	
Voisey's Bay (ニッケル)	58	12	14	12	20	18	18	22	
Indonesia (ニッケル)	75	18	20	17	20	15	19	19	

## 15. Xstrata

- ・ 2008年Q3のフェロクロム、白金、ニッケル鉱石、亜鉛精鉱、鉛地金の生産は、前年同期より増加。
- ・ 2008年H1に稼働開始した南アのElandsfontein白金鉱山の生産拡大により、同社の白金生産は、前年同期比158%増加。
- ・ ニッケル市況の低迷、高コストのため、ドミニカのFalcondo鉱山(フェロニッケル)の操業を停止。
- ・ 2008年、Lonminに対して買収提案をするも、10月に断念(ただし、市場での株式購入により、Lonmin株式の持分は、24.9%まで上昇)。

### 1. トピックス

- ・ 同社のニッケル鉱石生産量は、2008年1月に買収した豪 Jubilee Mines の生産分を通期参加できたこと等により、前年同期比17%の増。他方、フェロクロム生産に関しては、市況低迷を背景に、低品位、操業コスト高のドミニカのFalcondoの操業を2008年8月に停止。この結果、フェロニッケルの生産量は、前年同期比42%減となった。
- ・ 2008年9月、同社は、マイノリティパートナーとしてフィリピンのTampakanプロジェクトを行ってきたIndophil Resources社の株式を買い増し、持分を17.83%から、19.9%まで上昇させた。
- ・ また、2008年8月、南アを拠点とする英PGM生産大手Lonminの買収を提案し、市場でLonminの株式を10.68%取得した。Lonminは本提案を拒絶、また、10月にはXstrata自身が、現下の金融情勢の下、買収資金の調達が困難になったとして、買収を断念することを表明。しかし、同時に市場において、Lonminの株式の買い増しを行い、持分を24.9%まで増加させた。
- ・ この結果、Xstrata社は、Lonminの経営権が第3者に取られることを阻止することはできたこととなった。
- ・ 上半期は、南アのElandsfontein白金鉱山及びPGM選鉱設備の第一期工事が完了し、稼働開始した。この結果、Q3の白金生産量は、また、南アのLionフェロクロム・プラントも完成。

### 2. 財務状況〔四半期毎のデータ更新なし〕

(単位:百万US\$)

区分	2006年	2007年	2008年	
			H1	H2
売上高	25,482	28,542	16,092	
営業利益(EBIT)	8,419	8,792	5,687	
当期損益(Attributable Profit)	4,885	5,424	2,829	
資本支出(探鉱費含む)(Capital Expenditure)	2,039	2,872	2,164	
銅部門	514	434	721	
ニッケル部門	456	771	705	
亜鉛部門	272	305	504	
その他	797	654	942	

(注)2006年における全てのデータは、2006年中の買収案件(Falconbridge社他2件)を通年分に換算した、Xstrata発表によるPro Formaベースを記載。

### 3. 生産状況

#### ① 主要鉱産物生産状況

鉱産物	2007年	2008年			
		Q1	Q2	Q3	Q4
Xstrata Copper					
銅鉱石(精鉱 t)	986,663	219,978	234,615	224,291	
金 (t)	24.2	5.5	4.8	4.8	
(oz)	777,257	177,172	141,478	154,516	
Xstrata Nickel					
ニッケル鉱石(精鉱 t)	52,108	11,785	13,620	14,825	
フェロニッケル鉱石(精鉱 t)	29,130	6,866	4,387	7,529	
銅鉱石(精鉱 t)	31,425	6,789	6,935	8,426	
コバルト(t)	1,412	315	323	368	
Xstrata Zinc					
亜鉛鉱石(精鉱 t)	735,555	182,702	241,881	198,076	
亜鉛地金(t)	843,726	205,682	208,818	206,261	
鉛鉱石(精鉱 t)	213,735	64,572	64,392	63,181	
鉛地金(t)	190,168	57,374	46,273	56,098	
Xstrata Alloys					
フェロクロム(k t)	1,219	305	308	310	
五酸化バナジウム (t)	8,559	2,050	2,179	1,092	
(k lb)	18,870	4,520	4,803	2,407	
フェロバナジウム(k kg)	4,280	1,057	1,026	471	

注) 記載は金属純分で、他社権益分を含む。

注) Q2 は、Q1 及び H1 (上期) データより計算。

② 主要保有鉱山・製錬所の生産状況〔四半期毎のデータ更新なし〕

鉱山名・製錬所名 (権益比率、記載無きは100%)	2006年	2007年	2008年	
			H1	H2
<b>銅 (千 t)</b>				
Alumbraera(アルゼンチン)精鉱(50%)	180	66	180	
Mount Isa (豪)精鉱	194	71	172	
Collahuasi(チリ)精鉱(44%)	380	199	393	
Antamina(ペルー)精鉱(33.75%)	384	169	329	
Townsville(豪)地金	209	119	232	
CCR(カナダ)地金	368	180	319	
<b>亜鉛 (千 t)</b>				
Mount Isa(豪)精鉱	210	129	227	
McArthur River(豪)精鉱	136	67	138	
Brunswick(カナダ)精鉱	272	116	252	
San Juan de Nieva (スペイン)地金	503	223	478	
Kidd Creek(カナダ)地金	151	74	143	
<b>鉛 (千 t)</b>				
Mount Isa (豪)精鉱	118	73	104	
Brunswick(カナダ)精鉱	79	32	70	
Brunswick(カナダ)地金	70	42	71	
Northfleet (英)地金	162	71	119	
<b>ニッケル (千 t)</b>				
Sudbury(カナダ)Ni-Cu matte	122	30*	112	
Raglan(カナダ)精鉱	26	12	26	
Falcondo(ドミニカ)FeNi(85.3%)	29	14	30	
Nikkelverk(ノルウェー)地金	82	44	88	

注) 記載は金属純分で、他者権益分を含む

\* マット中のNi量(2008年Q2から公表方式変更)

4. その他

- ・ Xstrataは、2007年末、Valeからの買収(業務提携)のオファーを受けていたが、本年3月、両社合意の下、本件交渉を取り止めた旨発表した。

## 16. Glencore Q3(2008年7月～9月)

- ・ Glencore が権益を有する Rusal の Interros との Norilsk Nickel の共同経営についての合意
- ・ カナダ PolyMet Mining 社との多金属鉱床プロジェクトに関する提携
- ・ ペルーでの亜鉛鉱石生産計画の見直し
- ・ ザンビア Mopani 鉱山に関する水力発電所建設への出資
- ・ ボリビア COMIBOL と錫鉱山に関する JV 形成

### (1) M&A、業務提携

#### ① ブラジル Maracas バナジウムプロジェクトに関して Largo Resource と買鉱契約締結

Largo Resource はブラジル Bahia 州の Maracas バナジウムプロジェクト FS 結果を発表した。それによると、埋蔵鉱量 574 万 t、V<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 品位 1.42% であり、露天採掘で年産バナジウム 4,400t、マインライフ 13 年のほか、10 年間の低品位貯鉱の処理を見込んでおり、2009 年 Q1 に着工、2010 年 Q4 に生産開始予定。Glencore は本プロジェクトに関し生産開始から 6 年間の買鉱契約を Largo Resource と締結した。(2008 年 8 月)

#### ② PolyMet Mining 社との戦略的提携

Glencore は PolyMet Mining 社(本社：バンクーバー)が米国・MN 州北東部に所有する NorthMet 銅・ニッケル・PGM プロジェクトに対し 50 百万 US\$ の出資を決定し、その見返りとして PolyMet Mining 社の生産物(精鉱、中間生産物及び地金)を市場価格で引取る第一優先権を得た。また、Glencore は、生産開始までに追加の 31.25 百万 US\$ を、もしくは生産開始後に追加の 37.5 百万 US\$ を支払うことにより、最終的には PolyMet Mining 社全株式の 10.5% を保有することができる。

NorthMet 銅・ニッケル・PGM プロジェクトは 2010 年に生産開始予定で、年産で Cu 31 千 t、Ni 6.8 千 t、Co 320t、Pd 2.4t、Pt 650kg、Au 310kg を見込んでいる。(2008 年 9 月)

#### ③ アルミ分野で Glencore と提携の Rusal、Interros と Norilsk Nickel の共同経営を合意

Glencore が権益 12% を保有するアルミ生産大手 Rusal は 2008 年 5 月ニッケル最大生産企業 Norilsk Nickel の買収を考慮しロシアの富豪 Mikhail Prokhorov の Onexim Group から Norilsk Nickel の権益 25% を購入した。しかし Norilsk Nickel の筆頭株主(権益 30% を保有し、ロシアの複合企業 Interros を経営)の Vladimir Potanin 氏はこの統合に異論を唱え、7 月の Norilsk Nickel の取締役会は Interros 側と Rusal 側に分断した。最終的には 12 月に Rusal と Interros 側が両者の経営権を対等にするを条件に Norilsk Nickel の共同経営につき合意した。(2008 年 12 月)

#### ④ Asarco に対する救済策提案

2009 年 1 月、破産法保護下にある米国産銅大手 Asarco に対して Glencore が合併会社設立を書面で提案した。その具体的内容は明らかにされていないが、単独、あるいは Vedanta Resources 子会社の Sterlite Industries との共同提案が考えられる。Glencore はこれまで裁判所文書により Asarco の資産売却の入札参加に関心を示していた。また、この入札には Asarco の親会社である Grupo Mexico も名乗りを上げていたが、売却金額の折り合いがつかず頓挫していた。(2009 年 1 月)

### (2) 探査開発

#### ① ザンビア Cheowa 銅・金プロジェクトの資源量公表

Glencore が権益 51% を保有するザンビア Cheowa 銅・金プロジェクト(Zambezi Resources が残りの権益 49% を保有)の資源量が公表された。それによるとカットオフ品位を Cu0.3% として、予測資源量は 350 万 t、品位 Cu1.1%、Au0.23g/t、概測資源量は 290 万 t、品位 Cu1.1%、Au0.38g/t と評価された。(2008 年 7 月)

#### ② メキシコ：Luz del Cobre 銅プロジェクトの生産開始および金回収の検討

Glencore が 22 百万 US\$ を融資している Zaruma Resources(本社：加 Toronto)のメキシコ・Sonora 州の Luz del Cobre 銅プロジェクトが酸化鉱の採掘を 2008 年 9 月に開始した。同プロジェクトは、州都



Hermosillo の南東 160km に位置する。

同社は採掘した酸化亜鉛を破砕プラント設置場所の近傍に貯蔵しており、これと並行して、ジョークラッシャーの設置、リーチパッドのライニング及び SxEw プラントの建設を進めていた。

しかし開発資金が、2006 年 11 月の FS から 40%増の約 35 百万 US\$ に達する見込みであり、残りの開発資金を調達できず、10 月中旬に開発中断を余儀なくされている。そのため、設備の一部を転換し、金をヒープリーチングによって回収するために 50~100 百万 US\$ の投資を検討中であることを 11 月に発表した。同社は金回収事業を銅価格が回復するまでのキャッシュフロー獲得手段として実行可能で望ましいものと判断しているが、金回収を実施するためにはプロジェクトへの出資者の承認が必要としている。(2008 年 11 月)

### (3) 操業

#### ① 豪州 WA 州 Murrin Murrin ニッケル鉱山・製錬所の操業をニッケル価格下落に拘わらず継続

Minara Resources (本社：豪 Perth、以下 Minara 社) は、2008 年 10 月、WA 州の Murrin Murrin ニッケル鉱山・製錬所 (Minara 社権益 60%、Glencore 40%) の操業継続を発表した。

一部報道では、現在のニッケル価格下落により Murrin Murrin 鉱山・製錬所の操業停止予定が伝えられていたが、Minara 社はそれを否定し、低コスト採掘へ向けた取組み、人員削減等による操業コスト削減や豪ドル安により、操業継続する意向を発表した。

一方で、Minara 社は、主要株主である Glencore (Minara 社の権益 50.5% 保有) が Minara 社の新規株式発行による 210 百万 A\$ の増資を受入れたことを発表し、現在のニッケル価格の低下を乗切る構えである。

Murrin Murrin 鉱山・製錬所の現状の生産能力は 30,000t/年であるが、4 月にはヒープリーチングの導入によりニッケル生産能力を年間 10,000t 増加させる計画を発表していた。

(2008 年 10 月)

#### ② ペルーでの亜鉛鉱石生産状況

Glencore のペルー現地法人 Los Quenuales 社は、7 月に 2008 年亜鉛鉱石生産量を 2007 年の 25 万 t より 5~10% 増産する計画を明らかにした。同社は現在 Cusco 県、Ancash 県、La Libertad 県などで合計 12 件の探鉱プロジェクトを実施中であるほか、所有する Iscaycruz 鉱山及び Yauliyacu 鉱山のマインライフは残すところ約 10 年であり、Yauliyacu 鉱山の拡張工事の可能性については市場価格と品位次第とした。また、最近の石油価格の高騰や住民対策費の増加など、コストが嵩む一方で亜鉛価格が下落していることに懸念を示している。

また、経済危機後の 10 月に Glencore は、金属価格下落を理由に Rosaura 鉱山の操業を 2008 年 11 月 30 日に停止したほか、2009 年 Q1 に Casapalca (Glencore の亜鉛・鉛・銅・銀鉱山)、Los Quenuales 社など、ペルー国内人員の 15~20% 削減計画を発表した。Rosaura はペルーにおける Glencore 生産量計の 15% を占め、2010 年に閉山される予定だったが、金属価格下落によって操業停止の前倒しを余儀なくされた。この他にも Glencore は、前述の 12 件のうち、複数の探鉱プロジェクトの停止措置を取っている。(2008 年 12 月)

#### ③ ザンビア Mopani 鉱山会社を巡る動き

Equinox Minerals 社 (豪) が 100% 権益を保有するザンビア Lumwana 銅プロジェクトは 7 月に発生した漏電火災により 2008 年 Q3 に予定されていた銅精鉱の出荷が遅れている。

同鉱山の資源量は銅量ベースで 6.3 百万 t、年産銅 169 千 t、マインライフ 37 年の見込みで、数年内には年産能力を 300 千 t/へ拡張する予定である。

同プロジェクトからの精鉱は、中国有色鉱業集団有限公司 (CNMC) 他が建設している Chambishi 製錬所及び Mopani 鉱山会社の Mufulira 製錬所にトラック輸送される。Mopani 鉱山会社は、Glencore が 73.1%、カナダの First Quantum 社が 16.9%、国有企業 ZCCM 社が 10% 権益をそれぞれ保有する JV であり、この他に Mufulira 銅山、Nkana 銅・コバルト鉱山・コバルト製錬所を操業している。これらの生産設備への電力供給を目的として Glencore は、ザンビアの CEC (Copperbelt Energy Company) と共同で、投資額 15 億 US\$ の水力発電所を建設する計画である。CEC はザンビアの国内鉱山に電力を供給する唯一の企業で、この水力発電所建設によって 750MW を発電し、更に 3 億 US\$ を投資して、同国内の銅・コバルト鉱

山への電力供給設備を整える計画である。(2008年9月)

④買鉱契約を締結している Xstrata が操業する Falcondo (ドミニカ共和国) のニッケル生産を 4 か月間休止

Xstrata は 8 月に、石油価格の高騰及びニッケル価格の低迷が原因で、ドミニカ共和国 Bonao 市にある Falconbridge Dominicana (以下、Falcondo) ニッケル生産活動を 4 か月間休止すると発表した。Falcondo フェロニッケルプラントは、年間 29 千 t のニッケル(ニッケル純分量)を生産している。

なお、Falcondo から産出されたニッケルについて Glencore が 100%の取引契約を締結しており、ほぼ全量米国へ輸出される。アナリストは、市場が回復すれば Glencore は Falcondo 産の在庫を高値で売却できるので、Glencore は良いポジションにいると評価している。(2008年9月)

(4) その他

①コロンビア La Jaguna 石炭鉱山でのストライキを回避

コロンビア北部の La Jaguna 石炭鉱山(年産 6 百万 t 規模)で、鉱山労働者の賃金引き上げに合意しストライキを回避した。Glencore は 1 年目に 9%、2 年目に 1.6%の賃金引上げを含む労働契約を鉱山労働者側と締結している。(2008年7月)

②経済危機の下、Glencore の金属取引での信用度が低下

業界紙によると、経済危機の下、非鉄金属生産企業は取引で Glencore から前金を求める様に状況が変化した模様。生産企業は短期間の取引でも担保より現金を求めている。この背景には、株式全体の約 35%を保有している Xstrata の株価が 5 月から 222 億 US\$から 85 億 US\$と 62%下落したことがある模様。(2008年10月)

## 17. Kazakhmys

- ・ 2008 年 Q3 の銅カソード生産量は増加。特に自社鉱分が寄与(自社鉱による電気銅生産量は Q2 の 82 千 t から、92 千 t に増加)。
- ・ 2008 年 Q3 の亜鉛精鉱生産量も Q2 の 33 千 t から、38 千 t へ大きく増加。
- ・ 同社は、2008 年 Q1、悪天候のため銅鉱石、地金とも大きく生産量を落としたが、Q3 での増産により、2008 年通年では、2007 年並みの生産量を計画している。

### 1. トピックス

- ・ 2008 年 Q1 の銅精鉱の生産量は、品位が若干低下したことと、昨冬の非常な寒さ、積雪により、選鉱施設や輸送部門が大きく影響を受けたことにより、前期比 5%の減、前年同期比 14%の減となったが、Q3 は回復。
- ・ Q2 に生産開始した Taskura 及び Akbastau の 2 鉱山の生産増が、品位低下により生産量を落としている Nurkazgan 鉱山、Kosmurun 鉱山を埋め合わせている。
- ・ 銅カソード生産については、Q1 は前期比 18%の減、前年同期比 10%の減となったが、Q2、Q3 と回復。通年では 2007 年と同レベルの生産量となることを見込んでいる。
- ・ 亜鉛精鉱の生産量は、前期から大幅に増加。これは、主力の Artemyevsky、Nikolayevsky 鉱山の品位が向上したこと (Artemyevsky : Q2- 4.69%→Q3- 5.90%、Nikolayevsky : Q2- 3.53%→Q3- 4.10%) 及び Nikolayevsky 鉱山の採掘量の増加が寄与している。
- ・ 同社が、2008 年 2 月に買収した Ekibastuz 発電所は 2008 年 5 月末に運転を開始し、この結果同社は、カザフスタン最大の電力供給者となり、発電量は、昨年比(9 か月間)で 29%増加した。

### 2. 財務状況〔四半期毎のデータ更新なし〕

(単位：百万 US\$)

	2007 年			2008 年	
	通年計	H1	H2	H1	H2
売上高	5,256.6	2,789.3	2,467.3	2,387.8	
税引前利益(EBITDA)	2,336.3	1,323.7	1,049.7	1,012.6	
当期損益(Profit for the Period)	1,426.7	799.6	609.7	627.1	
売上高利益率(%)	27.1%	28.7%	24.7%	26.3%	
資本支出(探鉱費含む) (Capital Expenditure)	943.0	684.1	258.9	372.6	

注) 下半期は、通年及び上半期データより計算。

### 3. 生産状況(主要鉱産物生産状況)

鉱産物	2007 年					2008 年			
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
銅精鉱(千 t)	389.9	104.7	96.8	91.6	96.8	86.0	99.8	105.7	
銅カソード(千 t)	381.2	99.7	91.5	86.9	103.1	84.1	90.2	98.3	
銅ロッド(千 t)	35.7	9.0	9.0	9.0	8.8	13.4	10.2	9.1	
亜鉛精鉱(千 t)	132.8	38.6	32.6	30.0	31.6	33.6	32.8	38.2	
亜鉛地金(千 t)	45.2	14.9	12.5	5.7	12.1	12.4	12.2	10.6	
金 (t)	3.5	0.6	1.0	0.9	1.0	1.0	1.0	0.9	
(k oz)	113.4	19.2	32.2	29.8	32.2	31.4	31.4	29.4	
銀 (t)	591	156	158	147	129	125	134	118	
(k oz)	18,985	5,017	5,087	4,726	4,154	4,020	4,309	3,794	

注) 生産量は金属純分。金及び銀は自社鉱石分を記載

注) 各年 Q2 及び Q4 生産量は、2007 年 H1 及び Q3 データより計算。

### 4. その他

- ・ Q3 末時点で、同社は 2008 年の銅製品需要に関して、中国向け需要に支えられ概ね堅調と予測しているが、同時に、経済状況、非鉄価格の下落等の変化を踏まえ、高コストの施設の一次操業停止、資本支出の抑制等の対応策を検討中としている。
- ・ 他方、主要プロジェクト (Aktogay 鉱床、Boschekul 鉱床) のプレ FS は継続するとしている。